

学習指導要領		都立工芸高校 学カスタンダード
世界史の いざな い	(1) ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。	・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりに関心をもてる。
	イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。	・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通じ、世界との関係や交流の事跡に関心をもてる。 ・仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを理解できる。
世界 の 一 体 化 と 日 本	(2) ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。	・漢字文化、儒教、中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質が理解できる。 ・古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質が理解できる。
	イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。	・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について理解できる ・ヨーロッパの主権国家体制の特質が理解できる。
	ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	・市民革命、産業革命を経て、ヨーロッパにおける工業化と国民国家が形成されていった過程が理解できる。
	エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状	・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化

学習指導要領	都立工芸高校 学カスタンダード
<p>況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>(3) ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p>	<p>について理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことが理解できる。 ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について理解できる。 ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について理解できる。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを理解できる。 ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について理解できる。 ・世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを理解できる。 ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について理解できる。 ・アジア・アフリカの植民地支配からの解放、第三世界の形成について理解できる。 ・米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について理解できる。 ・ドル危機や石油危機など1970年代の経済構造の転換について理解できる。 ・冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について理解できる。 ・EUなどの地域統合の進展について理解できる。 ・世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様で

学習指導要領	都立工芸高校 学カスタンダード
<p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>あることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることが理解できる。 ・現代世界の諸課題について資料を活用して考察できる。 ・世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について、自分の考えを、討論や論述を通じて表現できる。